

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達・放課後児童デイ りあん		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団ならではの丁寧な療育を行うことができる	ひとりひとりの発達特性を理解し、心身の育ちを支えていくことができるよう保護者との対話を大切に行っている	家庭や地域の中でも子どもたちが生き生きと生活を楽しめるように療育内容を充実させていく
2	保護者の希望する利用時間に寄り添えるようにできる限りの受け入れをしている	保護者の就労や家庭状況を把握した上で、基本時間の枠を超えての受け入れを行っている	保護者の希望に寄り添いつつ、子どもたちの状態にも配慮して、療育時間や療育内容の質と量にも気を付けていく
3	預かりではなく、療育を軸に就学に向けての学習体勢を整える	自閉症児のために開発された教材を活用しながら、子どもたちの認知能力へのアプローチをしている	今までの取り組みを継続していき、自立と自律へ向けて必要な支援を行っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境としての狭さがある	個別対応・集団活動クールダウンスペース等を十分に確保できていない	子どもの活動内容や動線、指導員のいる場所などを評価し、今ある環境を活かしているかのPDCSサイクルを行う
2	専門性が問われることによる弊害	研修等の機会が少ない	研修や日々の療育を通してより質の高い療育を提供できるように努めていく
3	指導員の人数不足	配置基準は満たしているものの、より質の高い療育を提供するためにはマンパワーが不足している	限られた指導員人数でも理想に近い療育が行えるにはどのようにすればいいのか知恵を出し合っていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達・放課後児童デイ りあん

公表日 2026年3月1日

利用児童数 2025年11月30日現在 11名

回収数 10名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	6	0	1	・少し狭いと思います ・全体的にもう少し広いといいのかな と思います	・活動に合わせて机やイスを移動させるなど工夫してスペース作りをしています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	1	0	0	・遊びと学習の仕切りはいいと思います	・場と機能の一致を大切に環境設定を行っております
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	1	・ガイドラインを見たことがないのであまり意識していませんでしたが、療育内容や関わりには満足しています	・ホームページに療育内容を掲載しておりますのでぜひご覧ください
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	10	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	1	5		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	0	3	・定期的に写真で活動の様子を教えて頂けるとありがたいです	・子どもたちと関わることを大切にしている為、なかなか写真を撮ることができていませんが、今後工夫をして保護者の方に活動の様子をお知らせできるように参ります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1	0	0	・忘れ物が多い時があり個人情報の取り扱いに気を付けてほしい	・誠に申し訳ありません。忘れ物がないように職員間でしっかりと対応してまいります
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	0	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2	0	2	・行われているかどうかわからない	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達・放課後児童デイ りあん				公表日	2026年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	子どもたちの人数や活動内容に応じて、机やイスを動かして環境調整をしている	玩具の量や片付ける場所の調整を行っていく	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	送迎の関係で一時的に配置が少なくなってしまうが、活動を調整して安全に療育がすすめられるよう配慮している	なるべく送迎に出なくていよう法人全体で知恵を出していく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	マットの色を意図的に色分けをして、エリアを分かりやすくしている	マットの継ぎ目が外れやすいので改善する	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	支援者の配置にも気を配り、子どもたちが安心して活動ができるようにしている	1人1人の遊びの保障ができるように工夫をする	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	5	子どもの意思を尊重して安全面を配慮してエリア外にも行けるようにしている	1人の空間の確保を考えていく	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	準備時間の会話や記録を通して子どもたちの日々の姿や様子を共有している	勤務形態によって関わりが持てない職員もいるので連絡網の整備を考えていく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		連絡帳や面談内容を共有するなどして改善に繋げている	意向に沿うためにどのような手立てがあるかを全体で話し合える機会を設ける	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		管理者を通して意見を共有している	意向に沿うためにどのような手立てがあるかを全体で話し合える機会を設ける	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2	研修を受講した職員がレジュメを全体に回覧するなどしている	勤務形態や職員配置の関係上、全員が研修を受講できる機会がない	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		されている	特になし	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	面談や連絡帳、送迎時に子どもの今の姿を伝えたり、ニーズや課題を聞き取ったりして児童発達支援計画の作成資料としている	今以上に子どもの姿を観察し、子どもにとって最善の利益となるよう努めていく	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		準備時間の会話や記録を通して子どもたちの日々の姿や様子を共有し検討の材料としている	専門性により解釈や方法が異なることもあるがお互いに認め合っていく	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		行われている	特になし	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		太田のステージ評価を必要に応じて行い、子どもの発達状況の参考にしている	特になし	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		されている	特になし	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	準備時間の会話の中でアイデアを伝え合っている	勤務形態により担い手が固定されてしまう	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		準備時間の会話の中でアイデアを伝え合っている	職員の配置人数によって子どもの安全が保障されないことが予測される時には固定化されてしまう時期もある	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		子どもの発達状況から療育課題を設定し、個別と集団がバランスよく行われるように日々の活動を設定している	集団活動を行うにあたって支援者の人数を増やしていきたい	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		行っている	特になし	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		限られた時間の中で、振り返りを行っている	送迎の関係で参加できない職員もいるので知恵を出していく	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		行っている	特になし	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		行っている	特になし	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		参画している	特になし	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	保護者のニーズにより、連携を取っている	特になし	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保護者を通して併行利用先での姿を把握し、必要に応じて直接情報の交換や共有、理解を図っている	密に連携を取れる体制があるとよい	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保護者のニーズにより、連携を取っている	密に連携を取れる体制があるとよい	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	連携や情報交換を行っている	特になし	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	特になし	特になし	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		面談や連絡帳、送迎時に子どもの今の姿を伝えたり、ニーズや課題を共有している	事業所での実際の姿を保護者に見てもらえる機会を検討する	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	保護者の困りごとを受けた時には、助言等を行っている	事業所での実際の姿を保護者に見てもらえる機会を検討する		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		行っている	特になし		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		行っている	特になし		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		得ている	就労など家庭の状況により、やり取りが難しい家庭もあるので方法を探っていく
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		相談内容に合った専門知識を持っている職員が対応している	特になし
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	特になし	特になし
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		対応している	特になし
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	4	連絡帳などと一緒に活動中の姿をドキュメンテーションとして配布している	定期的に発行できるようにしていく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		している	特になし
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		している	特になし
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	行っている	特になし
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2	行っている	勤務形態により全員での訓練が難しい
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		している	特になし
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	現在アレルギー対応児はいない	特になし
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	行っている	特になし
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時に説明をしている	特になし
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		行っている	特になし
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		行っている	特になし
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	行っている	特になし	